

平成12年度社会教育委員の会議（第4回）会議録

- 1 開催日時 平成13年3月1日（木）午後3時～5時10分
- 2 開催場所 宇都宮市役所14階14A会議室
- 3 出席委員（15人）
工藤委員長，綱河副委員長，稲見委員，須藤光弘委員，上野委員，市田委員，大房委員，橋本委員，角田委員，三村委員，福田委員，梅園委員，大竹委員，藤枝委員，中山委員
- 4 会議の公開・非公開の別
公開
- 5 傍聴者の数
なし
- 6 議事
 - (1) 報告事項
 - ア 第42回平成12年度全国社会教育研究大会〔栃木大会〕関東甲信越静社会教育研究大会について
 - ・ 昨年10月18日から20日開催された研究大会についての報告
 - イ 平成13年宇都宮市成人式について
 - ・ 今年1月に実施した成人式についての報告
 - ウ 公民館運営審議会の統合について
 - ・ 今年6月に公民館運営審議会を統合し，中央公民館に宇都宮市公民館運営審議会を設置することについての報告
 - エ 第3図書館の建設，分館の整備について
 - ・ 第3図書館に関する懇談会の設置，今後の予定についての報告
 - ・ 錦分館，城東分館の移転改築の概要と予定についての報告
 - オ IT推進のための基礎技能講習の実施について
 - ・ 今年4月から募集を開始する基礎技能講習の概要についての報告
 - (2) 協議事項と決議事項
 - ア 平成13年度社会教育の方針及び事業計画について
 - ・ 原案を承認する。
 - イ 平成13年度図書館の運営目標及び事業計画について
 - ・ 原案を承認する。
 - ウ 平成13年度視聴覚ライブラリーの運営目標及び事業計画について
 - ・ 原案を承認する。
 - エ 平成13年度文化行政推進の方向及び事業計画について
 - ・ 原案を承認する。
 - オ 委員からの提案事項
 - ・ 地域指導者，地域学習コーディネーターの養成を今後の社会教育の柱にしてほしい。
 - カ その他
 - ・ 第3図書館に関する懇談会の委員については，副委員長とする。

7 発言の要旨

(1) 「平成13年宇都宮市成人式について」

藤枝委員：式典が約20分という報告があったが、実質は短かった。早く問題なく終えたいという感じだった。

当日、コンドームが配付されたが、その経過、市民の反応はどうか。今後、継続するか。物を配る場合には慎重にしてほしい。

事務局：今年は、宇都宮市の成人式は良好に終了したが、以前は宇都宮市でも課題があり、昨年から式典の時間を短くしている。

14年成人式までを試行期間としているが、来賓紹介についての意見もでており、来賓数が最高45人、最低10人前後など、会場ごとにばらつきがある状況であるが、来年は前向きに検討していきたい。

コンドームの配付については、保健所からエイズ予防のための強い要請があり、若い頃から十分なエイズ予防の知識を持ってもらいたいと実施した。市民や成人者からの反応はない。

藤枝委員：成人式を実施する目的を明らかにして、成人式の内容を充実してほしい。エイズ予防は、自己責任、自己管理も必要であり、行政のかかわり方に気をつけてほしい。

(2) 「公民館運営審議会の統合について」

橋本委員：新しい公民館運営審議会の事務局はどこか。

事務局：中央公民館になる。

中山委員：統合は歓迎できる。新しい公民館運営審議会の年齢制限、構成などはどうなるか。

事務局：年齢制限は、全庁的基準で就任時に70歳以内としている。

任期は2年。25人のうち、16人は、各公民館に推薦を受け、学識経験者、利用者団体代表の方にも願います。

大竹委員：公民館は生涯学習の柱であり、公民館運営審議会の統合は良い。地区の公民館をどうするかという観点もほしい。重要なのは指導者養成であり、統合後の地域のフォローがほしい。

事務局：今回、公民館運営審議会を統合するが、地域に審議会でなく住民組織として、幅広い団体を網羅した組織が必要と考えている。

(3) 「第3図書館の建設、分館の整備について」

大竹委員：この件については、これまでこの会議で論議していない。全体の枠組みの中でかなりの内容であり、この会議でも議論していくことが望ましい。

(4) 「IT推進のための基礎技能講習の実施について」

角田委員：受講者の年齢差への対応、指導者はどうなるか。

事務局：高齢者対象とすることが、今回の目的の一つでもあり、65歳以上向き、勤めている人向きなど、いくつかのパターンを作成中である。指導者については民間業者への委託で、指導者1人、アシスタント1人の2人を予定している。

三村委員：募集する際には、段階的に講習する必要があると思うがどうか。講習内容は慎重に組むことが必要と考えている。

事務局：初歩的な内容ではあるが，進み具合には個人差があり，のんびりコース，うさぎさんコースなど受講者の希望に合うコースを準備したい。

上野委員：市内で18,000人を見込んでいるが，1人あたりの補助額は？今回の補助は単年度だが，今後，市として実施していく場合，今年度実施の際にアンケートをとると参考になると考える。

事務局：総枠で2億円だが，講師のみの場合と器具の設置，学校用の契約変更などで異なってくる。アンケートは，実施していきたい。

(5) 「平成13年度社会教育の方針及び事業計画について」

三村委員：子どもセンターは，子どもの居場所として期待している。佐倉市子どもセンターは駅前であり中高校生，不登校の生徒の解消に役立っている。

宇都宮市でも，街なかの場所を借りるか買って，居場所づくりをすることを期待している。

市田委員：子どもセンターを作ってもそこで，どれくらい子どもが遊ぶか疑問がある。自ら工夫して外で遊ぶことも必要だと考える。

(6) 「平成13年度文化行政推進の方向及び事業計画について」

稲見委員：美術館で彫刻展が実施されて，視覚障害者に配慮されることに感謝する。案内ボランティアの案内のしかたなどについて，今後，盲学校として協力していきたい。

事務局：今後，実施に向けて盲学校と十分連絡をとらせていただきたい。

(7) 「委員からの提案事項」

大竹委員：今後，地域の社会教育を充実するためにどのように考えているか。

事務局：各地域で，組織を立ち上げていただき，意見を生涯学習に反映したいと考えている。市民が自ら企画実施できることを目標としている。地域学習コーディネーターとして，課題解決の手法を学ぶ人材養成をするため新年度から宇都宮大学への派遣事業を予定している。

大竹委員：地域指導者，地域学習コーディネーターの養成を今後の社会教育の柱にしてほしい。

(8) 「その他」

中山委員：教育研究所は学校教育のほかに生涯学習の観点も加味されているか。

事務局：1階は市民に開放できるスペースを持っている。

角田委員：自治公民館は，子どもたちの活動の場としても期待されるので十分な予算を考慮してほしい。自治公民館同士の情報交換の場も作ってもらいたい。

事務局：現在，宇都宮市公民館連絡協議会によって年2回研修会が実施されているが，他市の事例や市内の活動が活発な自治公民館の事例発表をしている。今後も宇都宮市公民館連絡協議会の研修を通じて活動を支援していきたい。